



日章学園九州国際高等学校校長便り 卯月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：為せば成る

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、

自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和4年(2022年)4月12日(火)校長 屋田伸仁



I CAN Congratulations

4月12日は第39回入学式でした。本年度の入学生の出身県は地元のえびの市以外に、宮崎県、鹿児島県、熊本県、佐賀県、福岡県、兵庫県、京都府です。遠くからえびの市へようこそ。「朋有り遠方より来たる 亦樂しからずや」で、とても嬉しく思います。えびの市は周囲を霧島連山の高い山々に囲まれ、中央に川内川が流れる山紫水明の地であり、人情味豊かなまちです。落ち着いて静かに勉学に専念できる絶好の場所です。

さて、皆さんに日章学園の建学の精神を通してがんばってほしいことを伝えます。

建学の精神①  
「道義に徹する」



建学の精神②  
「実利を図る」



建学の精神③  
「勤労を愛す」



道義に徹するとは、自分の志を貫くということです。皆さんの中には、この学校で、ぜひ、実現したい目標があると思います。しかし、寮生は初めての寮生活で親元を離れ、時にはさみしい思いもするでしょう。勉学が思うようにいかず、苦しいこともあります。我慢しなければならないときもあります。自分の志を持ち続けられる人が、困難や苦労を乗り越えられます。自分の夢や目標、志を常に見失わないようにしてください。

実利を図るとは成果を出すということです。今年の学園スローガンは「為せば成る」です。やれることはできるです。今まで、できなかったことができるようになる。たとえば、早寝、早起き、朝ごはんでの生活リズムが整って元気になる。毎日登校、遅刻0を達成。英語検定、中国語検定、漢字検定等の検定や資格の取得等。ぜひ、自らチャレンジして、いろんなことができるようになってください。

勤労を愛するとは、思いやりの心でボランティア活動をすることです。本校はえびの市社会福祉協議会のボランティア協力校に指定されています。高齢者施設の慰問活動、傾聴ボランティアやえびの市マラソンの給水ボランティア、ドッグランのイベントスタッフ等、さまざまなボランティア活動を通して、自分の内面を磨いたり、対人コミュニケーション能力を高めたりしてください。

I CAN'T の人は、 I DON'T の人。

自分の思ったように簡単に事が運ばないのが世の常です。それでも、歴史上の偉人は挫折や失敗を繰り返しながらも、強い意志で志を成し遂げてきました。上杉鷹山の「為せば成る」、「為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」は人や自分自身を自ら奮い立たせ、励ますための力強い言葉に聞こえます。

「I DO」(私はやる)と決意してやり抜けば、「I CAN」(私はできる)を達成することができます。反対に「I CAN'T」(私はできない)と言う人は、「I DON'T」(私はやらない)つまり、上杉鷹山が言うところの「為さぬなりけり」の人だと言えるかもしれません。皆さん、これから小さな「DO」を積み上げて、たくさんの「CAN」を達成してくださいね。

今年の4月から12月の間、「為せば成る」で、功績をあげた人に学園から GRIT賞 が授与されます。皆さんの大いなる活躍を期待します。

最後にこれからもコロナに感染しないように、感染予防や健康面に十分に気をつけて、充実した学校生活を送りましょう。

